

開催日時	平成 24 年 12 月 25 日（火） 午後 1 時 30 分から午後 3 時 00 分まで
開催場所	大垣市民病院 2 病棟 1 階会議室
議題	（1） 前委員会開催時の課題について （2） 平成 24 年度の取り組み状況について （3） （仮）大垣市民病院中期計画の策定について
出席委員	委員長 山川 隆司（大垣市医師会長） 副委員長 杉山 勝治（大垣歯科医師会長） 委員 鈴木 一朗（弁護士） 委員 岩田 雅人（安八郡医師会長） 委員 近藤 潤一郎（大垣市医師会） 委員 片野 雅文（大垣歯科医師会） 委員 松本 正平（大垣薬剤師会長） 委員 久保田 芳則（西濃保健所長） 委員 山本 譲（大垣市教育長） 委員 伊藤 恒子（日本中央看護専門学校長） 委員 竹中 昌子（大垣市連合婦人会長）
会議の公開区分	公開
傍聴人	なし
審議概要	（1） 前委員会開催時の課題について ・ 土日、夜間等に紹介患者の診察のため来院した際の電子カルテによる確認について、土日、夜間等は看護師数が少なく、紹介元医師に付き添ってカルテ操作をすることは困難なため、電子カルテによる確認は行うことはできない。代わりに、4 月から稼動する医療連携ネットワークシステムへ利用者登録をし、各利用者の医療機関のシステム端末上で確認をしてもらう。 （2） 平成 24 年度の取り組み状況について ・ よろず相談・地域連携課より、紹介率・逆紹介率、共同利用の実施として紹介医からの診察・検査数、救急医療の提供として救急利用件数、職員・医療関係者の研修会と市民対象の講演会の開催状況、開放型病床の利用状況の報告があった。 紹介率：46.0％（H24 年 4～11 月平均）、逆紹介率：62.5％（H24 年 4～11 月平均） 紹介診察件数：4,581 件（H24 年 4～11 月合計）、紹介検査件数：819 件（H24 年 4～11 月合計） 救急受診患者数：29,764 人（H24 年 4～11 月合計、月平均 3,721 人） 救急車利用件数：5,599 件（H24 年 4～11 月合計、月平均 700 人） 救急入院患者数：1,662 件（H24 年 4～11 月合計、月平均 208 人） 職員・医療関係者研修会：病診連携カフェ、コメディカル・ボン勉強会、西濃がん早期診断研修会 等 H24 年 4～11 月分：開催数 27 回、参加人数 2,604 人（院外 247 人、院内 2,357 人） 市民を対象とした講演会：市民公開講座、在宅療養支援講座、糖尿病公開講演、成人気管支喘息教室 等 H24 年 4～11 月分：開催数 21 回、参加人数 1,171 人（院外 1,093 人、院内 78 人） 開放型病床の状況 登録医数：81 人（各医師会員 72 人、歯科医師会員 9 人）（H24 年 11 月末現在） 病床利用率：17.0％（H24 年 4～11 月平均） ・ 各委員より、上記の取り組み状況についての意見があった。内容は次のとおり。 ①1 次救急の分散について →（委員）救急体制として、1 次救急を急患センターや歯科の休日診療、開業医とし、2 次救急を大垣市民病院が受けるという分業体制をさらに進めて行くよう案内をしてほしい。 ②開放型病床の利用について

	<p>→（委員）開放型病床に個室を設けてほしい。患者への説明の際、「個室希望は一般病床で」とは言いにくい。</p> <p>→（委員）歯科の利用形態として、抗凝固剤服用中の患者が抜歯を要する場合は共同診療をして活用したい。</p> <p>（３） （仮）大垣市民病院中期計画の策定について</p> <ul style="list-style-type: none">事務局庶務課より、前回の委員会で示された「（仮）大垣市民病院中期計画」の素案が作成されたため、提示された。内容は次のとおり。 <p>名称：大垣市民病院中期計画（素案）</p> <p>策定期間：平成 25 年度から平成 29 年度</p> <p>概要：１計画策定の概要、２中期ビジョン及び基本方針、３中期計画の体系図、４財政計画、５評価・公表</p> <ul style="list-style-type: none">各委員より、大垣市民病院中期計画（素案）について意見があった。内容は次のとおり。 <p>①入院患者の生活について</p> <p>→（委員）食事内容や質の向上、書店やコーヒーショップの設置を考えてみてはどうか。</p> <p>→（庶務課事務）給食は 29 年度までに外注となる予定。ショップについて、現在の売店をコンビニにするため、運営主体を共済会から外部へ移管するよう協議中。</p> <p>②院外処方への移行について</p> <p>→（委員）29 年度までに院外処方を 95%になるよう切り替えるとの計画だが、26 年度までに達成できないか。また、現在の院外処方が 3.5%は低い。市民病院の患者への案内が足りないのではないか。</p> <p>→（事務局）すぐに切替は薬剤数が多種に及ぶため難しい。目標に向けて取り組んでいく。</p> <p>→（委員）他の自治体病院の事例で、院外処方へ全面切替した途端、患者の費用負担が高くなり、反発を受けたということがある。患者の了解の下に進めていかなければならない。</p> <p>→（事務局）市民とのコンセンサスや、希望者からの実施も考慮していきたい。</p> <p>③看護体制の充実について</p> <p>→（委員）7 対 1 の看護体制の導入のために、看護師 800 人の体制で足りるのか。</p> <p>→（事務局）現在の稼働率では 800 人で可能となるが、800+20 人とすればゆとりができる。パート看護師の採用で対応もできると考える。</p> <p>④医師・看護師の評価と教育について</p> <p>→（委員）勉強会等に参加する職員に対する評価はあるか。</p> <p>→（事務局）医師以外は勤務評定を行い、実績により給与に反映する制度である。研修等の学習支援策として、看護部で自由裁量となっている予算計上はされている。</p> <p>→（委員）教育機関との関係強化について、看護学校の教員の確保のため、市民病院から教員研修に出してほしい。また、看護学生の実習の場として、受け入れを進めてほしい。</p> <p>⑤地域との連携強化について</p> <p>→（委員）市民病院の医師の地域連携に対する把握が不十分であると思う。どの連携先とどのような取り組みをしているか周知していく必要があるのでは。</p> <p>→（委員）在宅医療支援について、力を入れて、地域のどの医師がどのような在宅医療を行っているか、病院と診療所の双方が把握できるような環境を整えてほしい。</p> <p>⑥高度急性期医療の充実について</p> <p>→（委員）ハイブリッド手術室については。</p> <p>→（事務局）今後の高度医療を考え、ハイブリッド手術室は設ける必要があるため、26 年度までに計画し、29 年度に反映させたい。</p> <p>⑦大垣市民病院中期計画の公表について</p> <p>→（委員）中期計画の素案を公表し、パブリックコメントを求めないのか。</p> <p>→（事務局）公表等について、ある程度のビジョンや地域で果たす役割を明確にした上で、考えたい。</p>
次回開催	平成 24 年度第 4 回は 3 月 19 日（火）の開催とする